

東京市板橋区東大泉町五五七番地 牧野富太郎より  
本郷区、帝大、醫學部、藥學教室 藤田直市宛書簡

藤田賢臺 玉机下

其後は大変に御無沙汰を申上げておますが  
此不順の天候にも拘らず尚御安康に御精研の御事  
と慶賀の至に存じ上げます。私も例の通り  
至極壯健ですから御体神を願上げます

去る四月には周防まで参り所々で桜花を觀、大和  
吉野山へ一度續けて行きました六月始には肥前  
雲仙嶽肥後阿蘇山参りミヤマキリシマの花を見て  
来ました。又此月の廿四日から伊豫土佐参ります  
郷國の土佐へ実に二十年ぶりで歸口します

サテ此たびは御心にかけれ暑中御見舞として御丁  
寧に御贈りものを御恵み下され御好情の段誠に感  
謝の至に存じ上げます。何時もただ頂くばかりで私よ  
りは実に申譯もなき御無音になつてゐます事  
をお詫ひ申上げます次第です私は生活上の  
奮闘ばかり致してゐまして何時も御疎遠ばか  
り致してゐます

先達口はイカリサウ（名マラタケリグサ）の御研究論文  
御恵み下さいまして面白く拝見いたしました右誠に  
長延引厚く御禮申上げます

先は不取敢右御禮申上げ度略義ながら此書状を  
差上げました。土佐から歸りましたら一度緩々  
拝眉を得たいと存じてゐます 時下折角  
御自愛專一に願上げます

七月十九日 牧野富太郎